

**第66期第2四半期（累計期間）
決算説明会
(2018/4/1～2018/9/30)**



2019年3月期第2四半期累計期間実績 および2019年3月期通期見通しについて

代表取締役社長 鷹野 準

(ご注意)

※本資料中の四半期数値は特に断りがない限り、第2四半期累計期間を表示しております。

**2019年3月期第2四半期連結累計
期間決算実績の内容について**

●当社および連結子会社の概要について

会社名	沿革等	事業の内容
※当社 タカノ株式会社	昭和28年7月 ばね製造会社として設立 平成9年東証上場	・オフィス家具、ユニット（ばね）製品、エクステリア製品、 画像処理検査装置、電磁アクチュエータ、健康福祉関連機器 の製造販売
※連結子会社 (株)ニッコー [機械・工具]	昭和43年3月 グループ内の工具機械等の仕入を する商社機能として設立	・工具、器具、機械、エクステリア製品の仕入販売
※連結子会社 タカノ機械(株) [検査計測機器]	昭和54年9月 当社治工具・専用機の設計製造部 門を分離独立させ設立。	・省力化機械の製造販売 ・検査計測装置のメカ機械等の製作
※連結子会社 台湾鷹野股份有限公司 [検査計測機器]	平成17年2月 当社100%子会社として設立、同年 4月より営業を開始	・台湾におけるFPD向け画像処理検査装置のメンテナンス、ア フターサービス、販売活動
※連結子会社 上海鷹野商貿有限公司 [住生活関連機器]	平成22年2月 当社100%子会社として設立	・オフィス家具他、各種製品の仕入販売 (当社各部門の中国市場向けの製品の販売活動等、中国から の部材仕入れ活動等を行う目的で設立)
※連結子会社 香港鷹野國際有限公司 [産業機器]	平成23年8月 当社100%子会社として設立(登記) 平成24年1月(営業本格開始)	・産業機器(電磁アクチュエータ)製品、検査計測機器製品お よびそれぞれの製品にかかる部品等の仕入・販売(輸出入)

●2019年3月第2四半期決算実績 (対前期比)

	2019年3月2Q (百万円)	2018年3月2Q (百万円)	前年同期比 (%)
売上高	10,967	9,364	117.1%
営業利益	359	301	119.5%
経常利益	445	351	126.9%
四半期純利益	389	247	157.6%

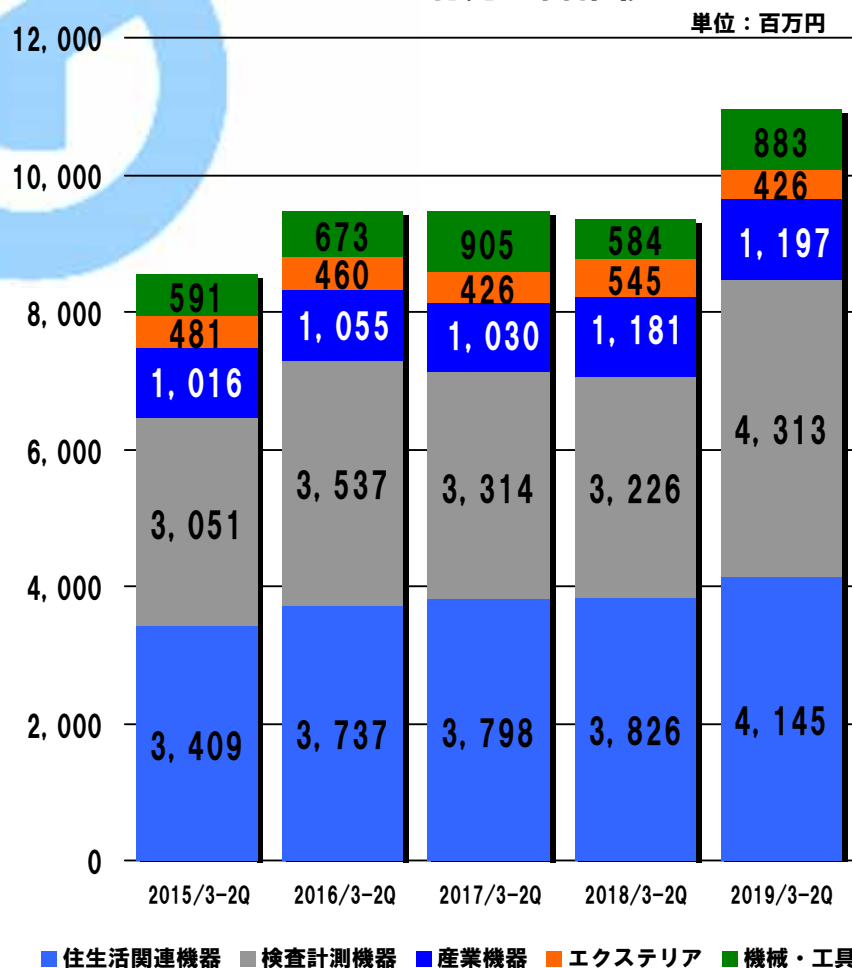
●2019年3月第2四半期決算実績 (対計画比)

	2019年3月2Q 実績 (百万円)	2019年3月2Q 計画 (百万円)	計画比 (%)
売上高	10,967	11,300	97.1%
営業利益	359	360	99.9%
経常利益	445	420	106.2%
四半期純利益	389	350	111.2%

※計画値は、2018年5月8日の決算発表時に開示しました業績予想値を表示しております。

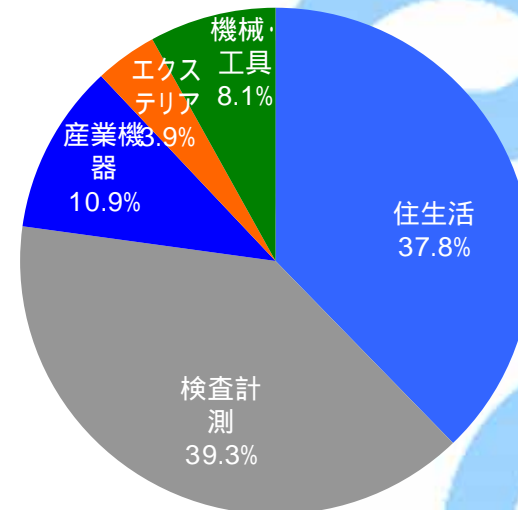
●連結セグメント別売上高の推移

セグメント別売上高推移



	2019/3-2Q (百万円)	2018/3-2Q (百万円)	前年 同期比
住生活関連	4,145	3,826	108.3%
検査計測	4,313	3,226	133.7%
産業機器	1,197	1,181	101.3%
エクステリア	426	545	78.3%
機械・工具	883	584	151.1%
合計	10,967	9,364	117.1%

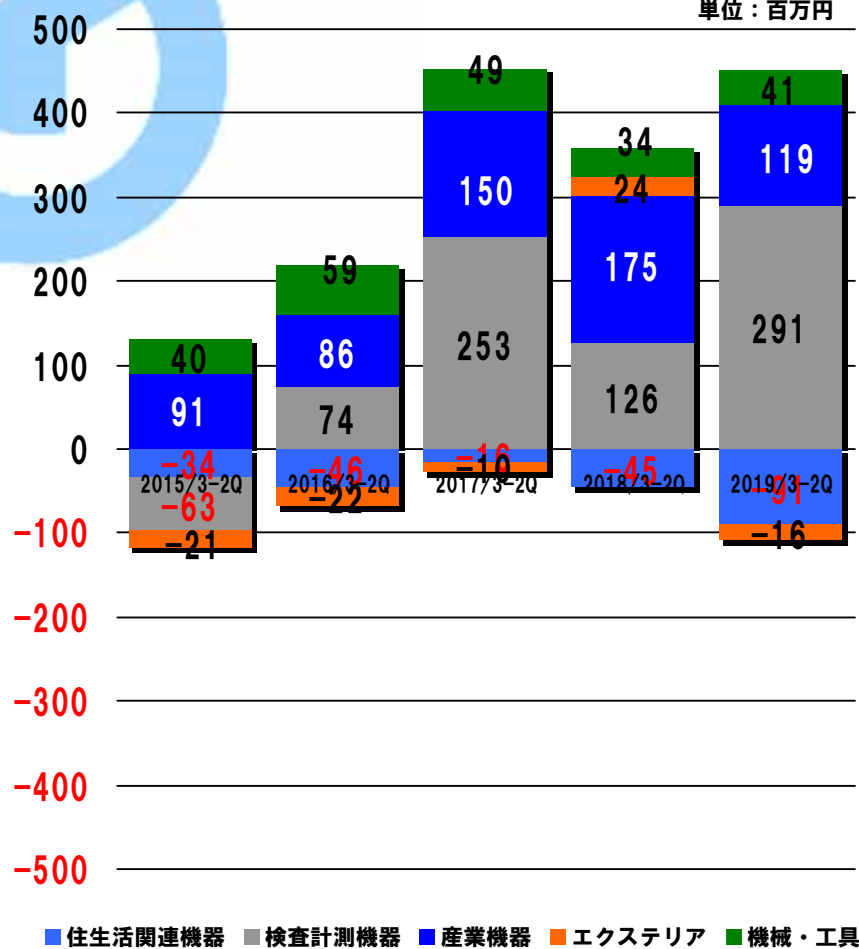
2019/3 第2四半期（累計）売上高構成比



●連結セグメント別利益の推移

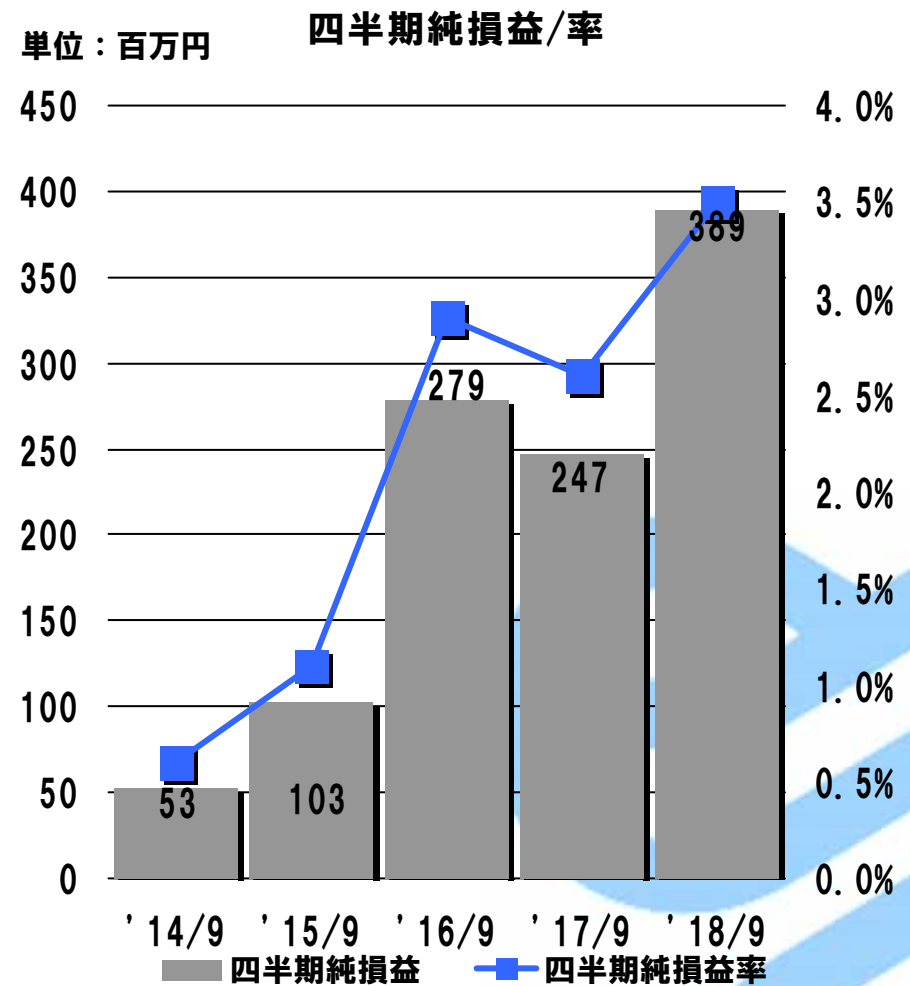
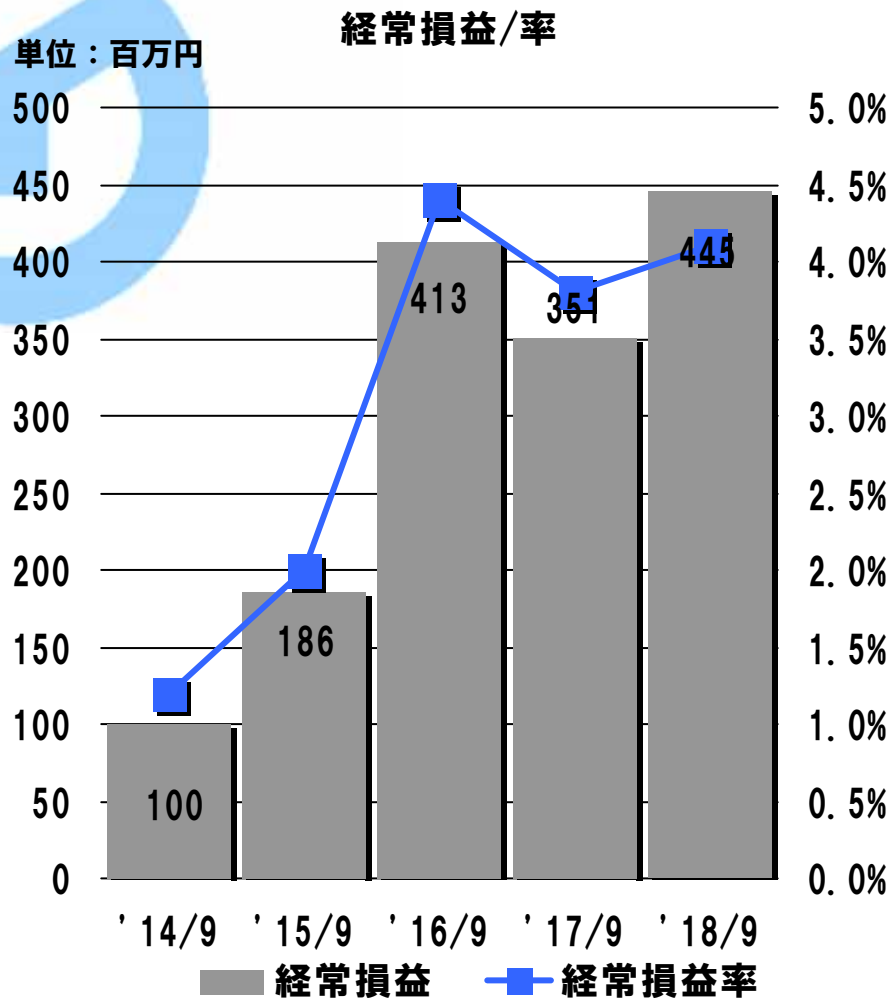
セグメント別利益推移

単位：百万円



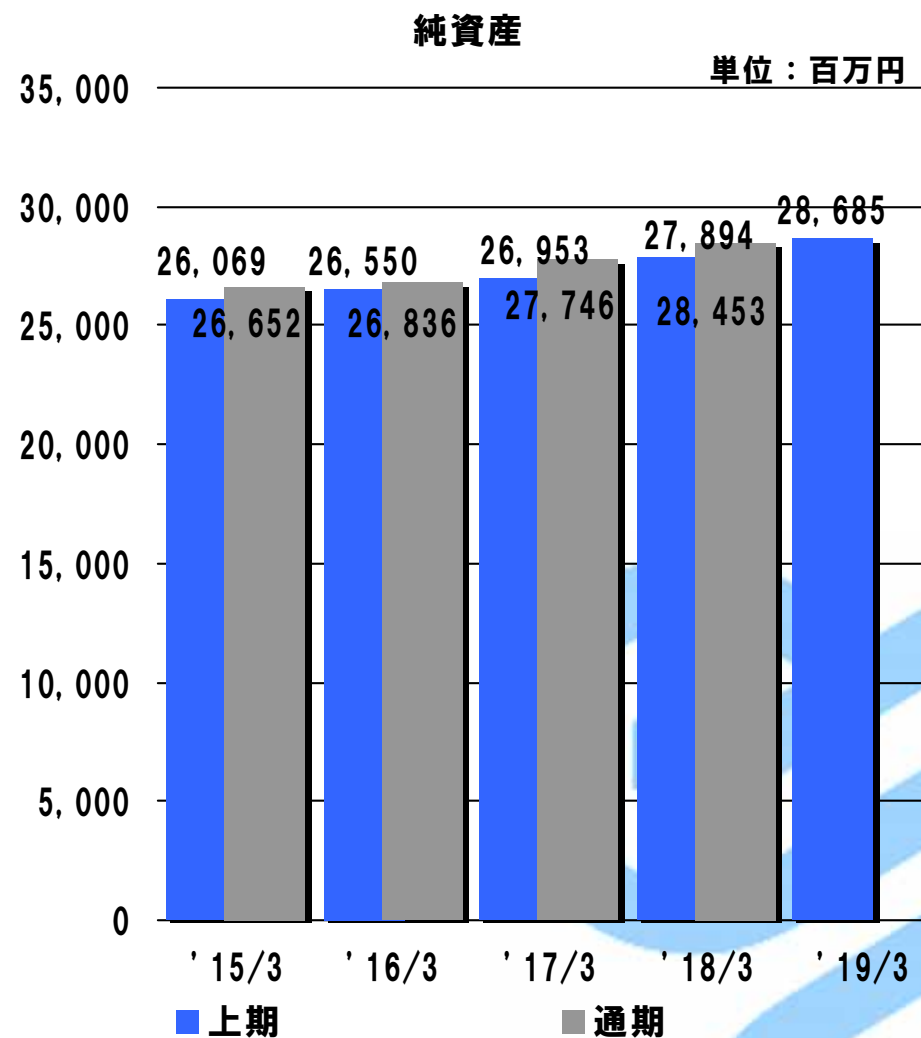
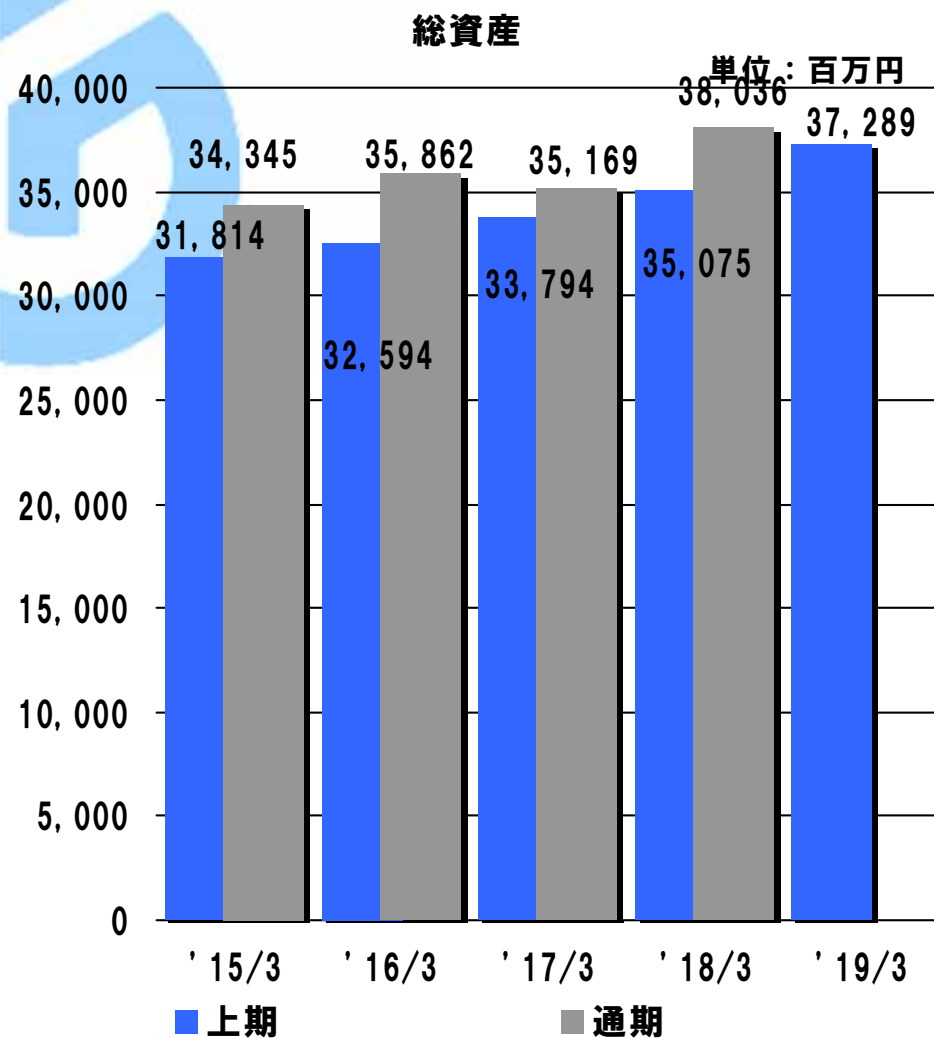
	2019/3-2Q (百万円)	2018/3-2Q (百万円)	前年 同期比
住生活関連	△91	△45	—
検査計測	291	126	229.8%
産業機器	119	175	67.7%
エクステリア	△16	24	—
機械・工具	41	34	121.9%
取引消去	15	△14	—
合計(営業損益)	359	301	119.5%

● 経常損益・四半期純損益の推移 (第2四半期累計)



○ 2019年3月期第2四半期の1株当たり
四半期純利益 25円62銭

●総資産・純資産推移(第2四半期末)



○2018年9月末の自己資本比率 76.9%

○1株当たり純資産 1,887.67円

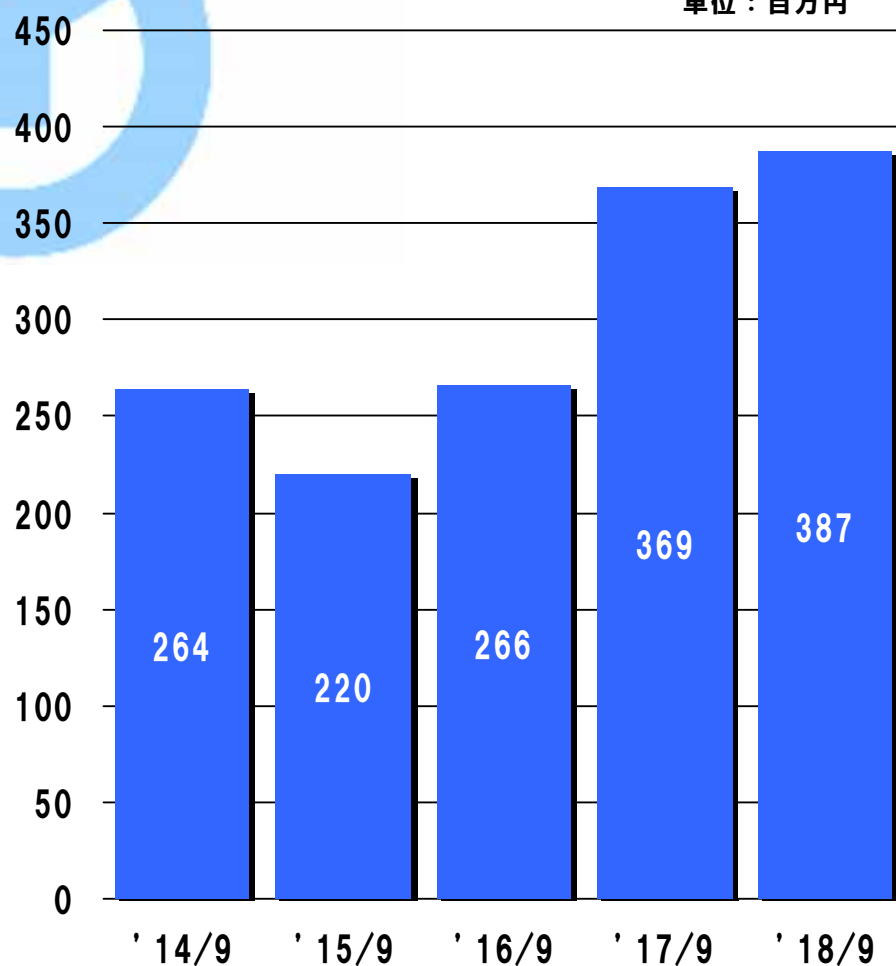
●2019年3月第2四半期キャッシュフロー計算書

	2019年3月2Q (百万円)	2018年3月2Q (百万円)	前年比増減 (百万円)	備考
営業活動によるCF	1,203	1,356	△153	
投資活動によるCF	△1,316	△613	△702	
財務活動によるCF	△300	△300	△0	
現金等換算差額	△3	2	△6	
現金等の増減額	△417	446	△863	
現金等期首残高	10,452	11,009	△557	
現金等期末残高	10,034	11,456	△1,421	

●研究開発の状況

研究開発費推移

単位：百万円



●当第2四半期の主な研究開発の内容

■住生活関連機器

- ・ 新型診察台開発
- ・ 新素材研究等

■検査計測機器

- ・ 高速高分解能新型カメラ開発
- ・ OLED向けレーザー加工研究
- ・ 自動車業界等向け3D検査装置開発

■新事業開発関係（基礎研究）

- ・ 体外診断用医薬品および診断装置開発
- ・ 医療関連機器開発

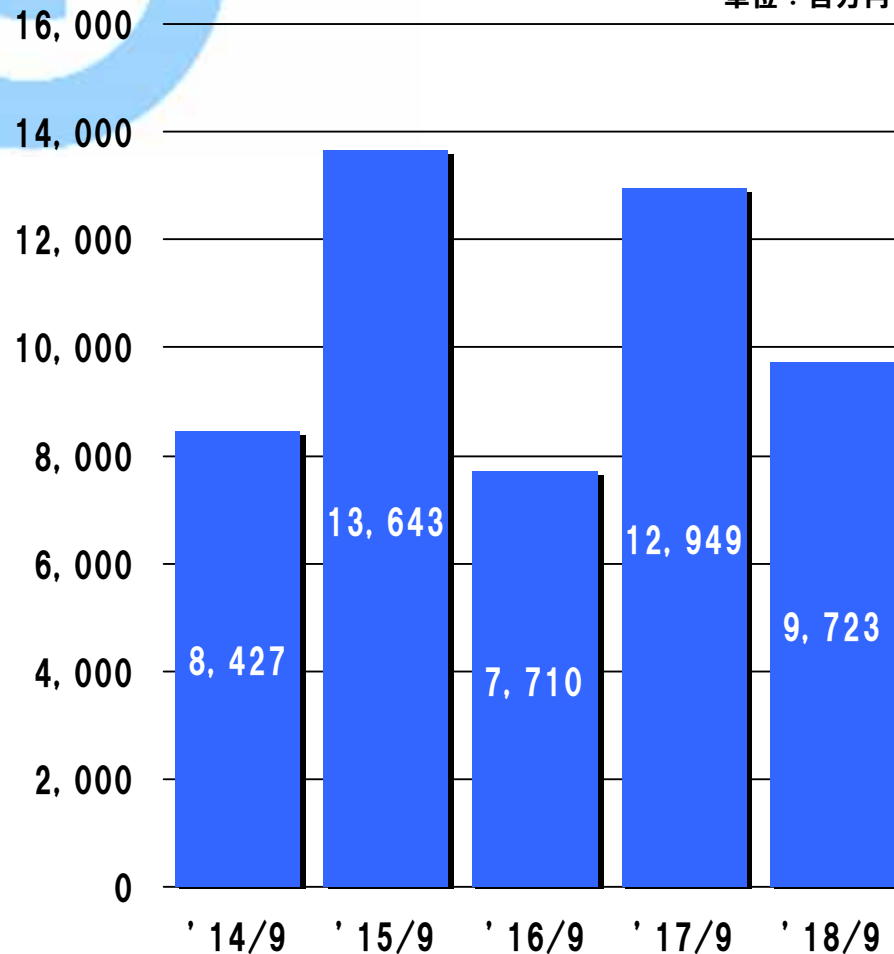
●受注・受注残高の状況

■検査計測機器の受注残高の状況

2018年9月末 8,217百万円

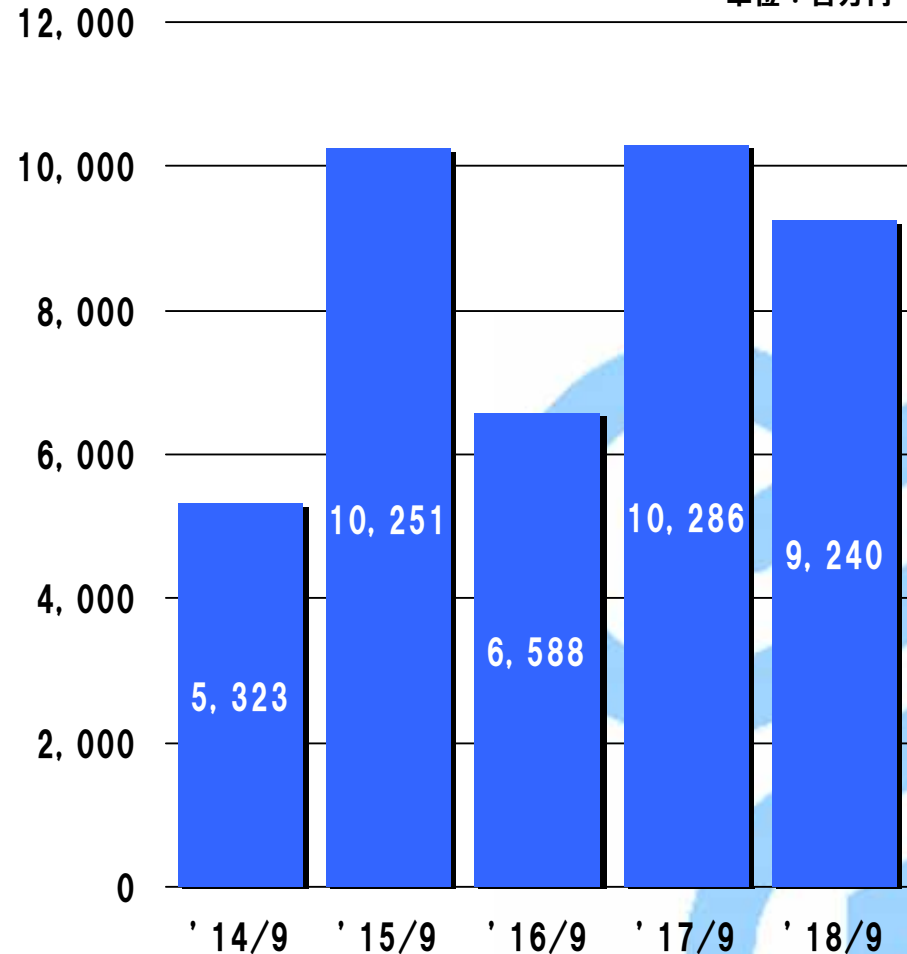
第2四半期(累計)受注高推移

単位：百万円



第2四半期末受注残高推移

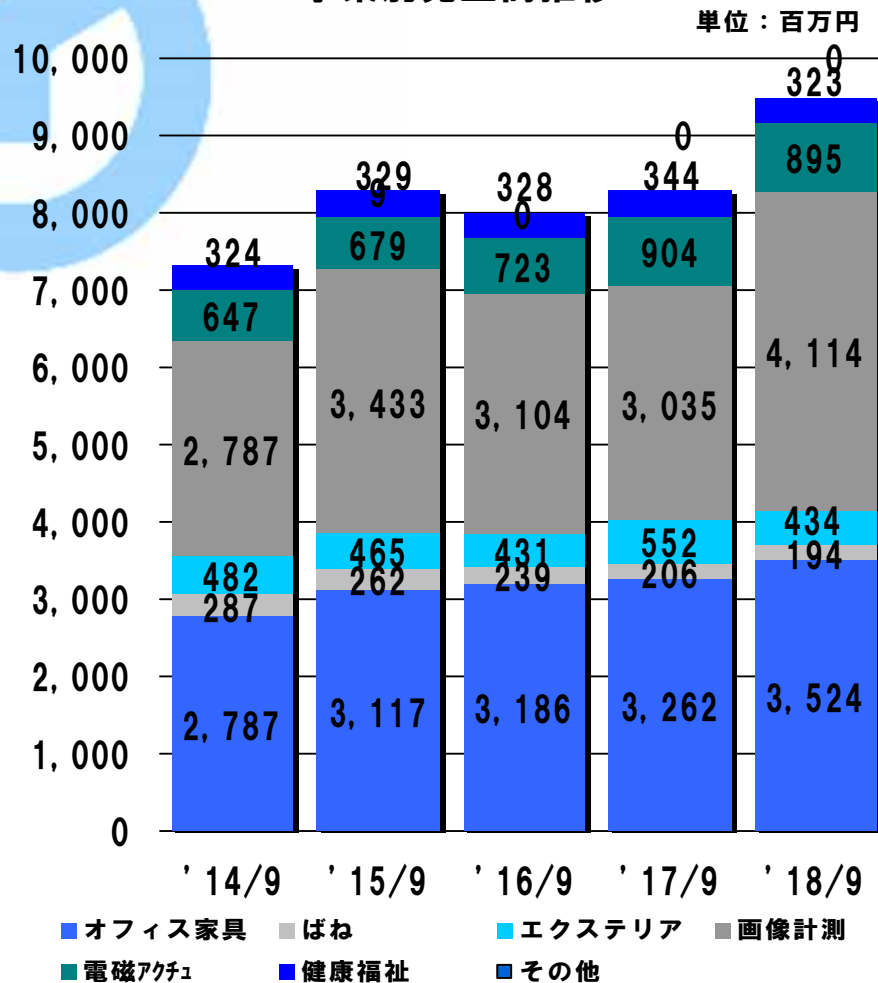
単位：百万円



**2019年3月期第2四半期決算（単独）
部門別売上高実績の内容について**

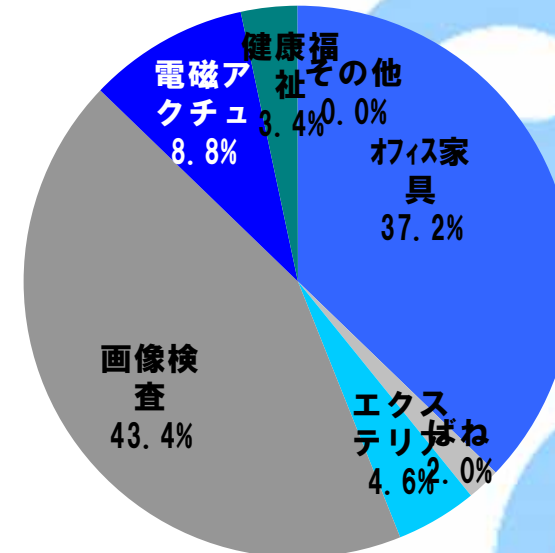
●事業別第2四半期売上高(単独)の推移

事業別売上高推移



	2019/3-2Q (百万円)	2018/3-2Q (百万円)	前年 同期比
オフィス家具	3,524	3,262	108.0%
ばね	194	206	94.3%
エクステリア	434	552	78.5%
画像検査	4,114	3,035	135.6%
電磁アクチュ	895	904	99.1%
健康福祉	323	344	94.0%
その他	0	0	-%

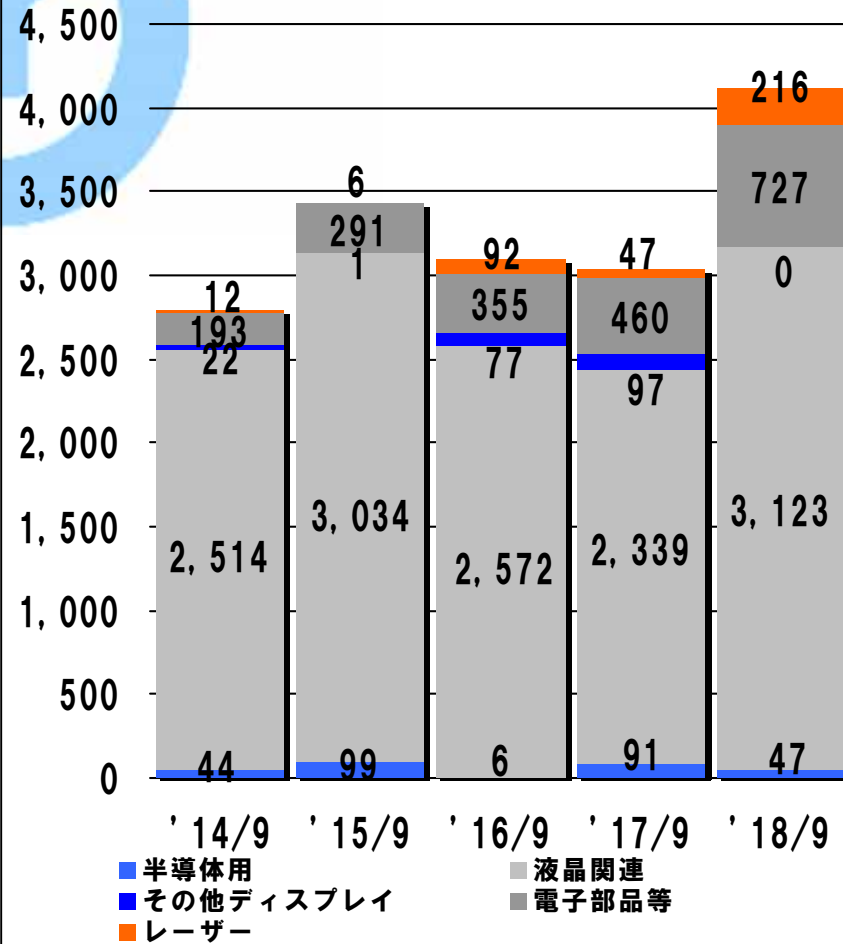
2019/3 第2四半期売上高構成比



●検査計測装置（単独）第2四半期売上高の推移

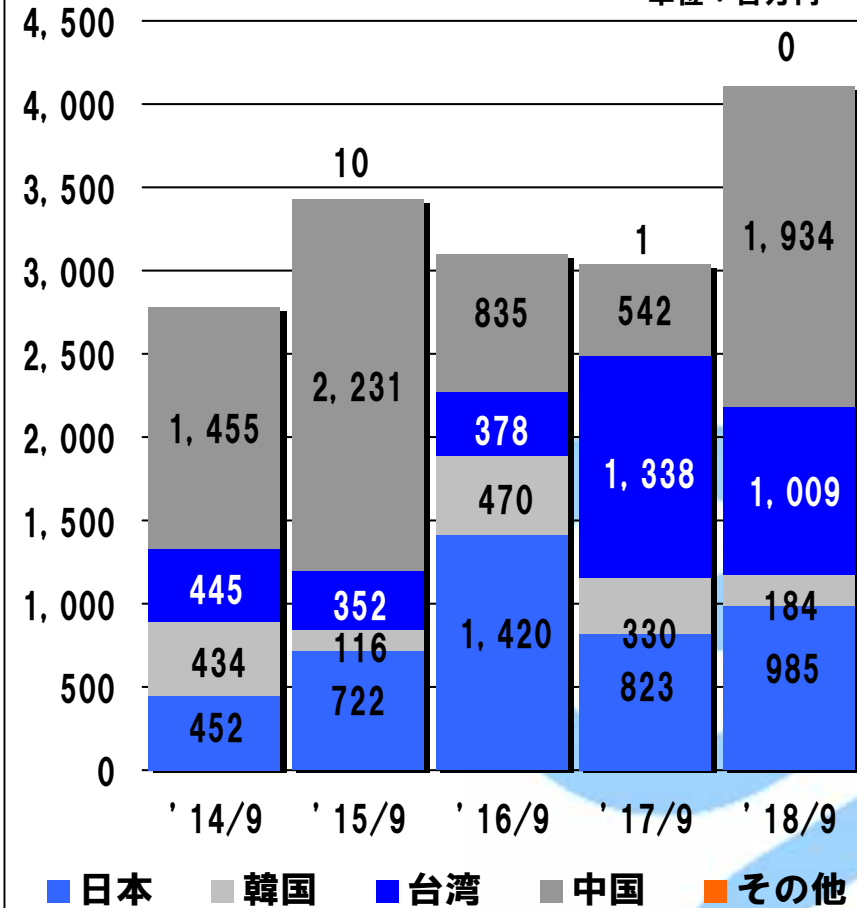
検査計測装置品目別売上推移（単独）

単位：百万円



検査計測装置地域別売上推移（単独）

単位：百万円



2019年3月期決算（連結）の見通しについて

●2019年3月期決算（連結）見通し

	2019年3月予想 (百万円)	前年同期比 (%)	2018年3月実績 (百万円)
売上高	24,800	114.3	21,696
営業利益	1,440	129.6	1,111
経常利益	1,490	123.2	1,209
親会社株主に帰属 する当期純利益	1,080	121.9	885

中期経営計画の進捗状況 実施施策等について

代表取締役社長 鷹野 準

■中期経営計画（Innovation 68）の基本方針


スローガン：「Innovation 68」
～新しい価値を創造する～

基本方針：「構造改革とプロセス改革を進め、
稼ぐ力を取り戻し、次の成長路線
を構築する。」

キーワード：Change
Chance + Speed (Quick Response)
Challenge

■中期経営目標について

連結業績等	平成30年3月期 実績		平成33年3月期 目標
売上高	21,696百万円		30,000百万円
営業利益	1,111百万円		3,000百万円
(営業利益率)	5.1%		10.0%
経常利益	1,209百万円		3,100百万円
(経常利益率)	5.6%		10.3%



■中期経営計画 全社的課題に対する施策概要

- (1) 連結経営体制の強化を図る。
- (2) 新分野・成長分野開拓の道筋をつける。
- (3) 全体効率の視点で生産効率向上策と原価低減を徹底的に進め、競争力を高める。(毎年10%以上の生産性向上)
- (4) グローバル化の推進を行う。(グローバルの視点で考え、行動する。)
- (5) M & A・事業提携等を通じた成長の実現を図る。
- (6) 不採算分野の方向付けと事業構造を変革させる。
- (7) 強固な財務基盤の維持と新規・成長分野への積極投資の両立。
- (8) CSRの推進に向けて、人材・環境分野で重点的な活動を進める。
- (9) コーポレート・ガバナンスの強化。

■中期経営計画 全社的施策に関する施策実施状況等

施策内容	実施施策概要
連結経営体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> ・子会社管理体制(業績管理等)の刷新 ・海外子会社機能の見直し(事業部門をまたぐ機能の拡充検討)
新分野・成長分野開拓の道筋	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機器関連分野の事業化(体外診断用機器・手術室まわり製品の事業開発) ・半導体関連電子デバイス検査事業拡大に向けた新製品開発 ・AI(ディープ・ラーニング等)を活用した検査装置の高度化(欠陥分類機能等)
生産効率向上策と原価低減	<ul style="list-style-type: none"> ・全社的にJIT思想に基づく合理化・効率化活動の推進 ・ロボットの導入等による無人化工程・無人化ラインへの挑戦 ・IoTの活用による製造現場の見える化の推進と生産性向上 ・3Dプリンタの追加導入、シミュレーション技術の高度化等による開発リードタイムの大幅短縮への挑戦
グローバル化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・産業機器分野(電磁アクチュエータ)の北米営業展開実施(専任チームの編成と重点的なマーケティングの実施)・北米駐在員・メキシコ駐在員の設置 ・海外子会社を通じたグローバル調達の推進
M & A・事業提携等	<ul style="list-style-type: none"> ・医療関係分野、検査計測センサー関係分野等での継続検討 ・(株)トプコン社より、半導体関連検査装置分野事業の譲受実施(2017/10・2018/7)

■中期経営計画 全社的施策に関する施策実施状況等

施策内容	実施施策概要
不採算分野の方向付けと事業構造変革	<ul style="list-style-type: none"> ・住生活関連事業ヘルスケア分野における営業体制の強化(医療機器関係のマーケティング実施体制の拡充)・ヘルスケア(医療)関連を一つの柱へ育成) ・ヘルスケア部門を独立、専任役員体制整備 ・エクステリア事業における営業体制の強化と新製品開発の活発化
財務基盤の維持と新規・成長分野への積極投資	<ul style="list-style-type: none"> ・攻めにかかる新規設備投資を増額 ・首都圏における全社的研究開発拠点建設 起工 ・新分野・成長分野事業化開発の体制強化
人材・環境分野で重点的な活動推進	<ul style="list-style-type: none"> ・減電プロジェクトによる使用エネルギーの大幅低減活動実施 (3か年の削減目標 原単位比で30%の削減)
コーポレート・ガバナンスの強化	<ul style="list-style-type: none"> ・監査等委員会設置会社への移行[H28/6] ・取締役会の評価・分析を含めた、取締役会のあり方の見直し[取締役会評価の実施]

この資料に記載されている業績予想等の将来に関する予測は、当社経営陣が現時点で入手可能な情報に基づき、判断したものであります。将来に関する予想には様々な潜在的リスクや不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素によりこれらの将来予想とは異なる場合があります。

従いまして、この資料にある将来に関する予想に全面的に依存して投資等の判断を行うことはお差し控えてください。